

臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p>＜研究課題名＞</p> <p>当院における骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨脛固定術の治療成績</p>
<p>＜研究機関・研究責任者名＞</p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 泌尿器科 (研究責任者)吉澤 剛</p>
<p>＜研究期間＞</p> <p>承認日 ～ 西暦 2019年12月31日</p>
<p>＜研究の目的と意義＞</p> <p>2014年4月に腹腔鏡下仙骨脛固定術が保険収載され、当院でも3D内視鏡システムの導入を契機に、2015年3月より骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨脛固定術を導入しました。腹腔鏡下仙骨脛固定術は、腹腔鏡手技に慣れた術者でも剥離操作を含め、メッシュと組織の縫合操作が多く、手術時間が長くなりがちです。よって、安全で確実な手技が求められます。今回、我々は当院における腹腔鏡下仙骨脛固定術の治療成績について診療記録を用いて探索的観察研究を行います。本研究により、腹腔鏡下仙骨脛固定術は比較的難易度の高い術式ではあるが、当院においては安全で治療効果に優れた術式であることを示すために行います。</p>
<p>＜利用する試料・情報の項目＞</p> <p>診療記録、手術のDVD、手術前後に施行した画像検査(レントゲン、MRI など)</p>
<p>＜対象となる患者さん＞</p> <p>2015年3月～2018年12月の間に当院泌尿器科で骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨脛固定術を受けた方</p>
<p>＜研究の方法＞</p> <p>2015年3月から2018年12月の間に当院泌尿器科で骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨脛固定術を受けた方(約80例)を対象とします。年齢、体重、既往歴、術前の骨盤臓器脱のステージ、手術時間、出血量、入院期間、周術期合併症、再発の有無について検討します。</p>
<p>＜お問い合わせ窓口＞</p> <p>日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町30-1) 泌尿器科 氏名: 吉澤 剛 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2513 (PHS)8390</p>